

ナイスケアだより

第128号

令和5年1月発行

今年の箱根駅伝は駒澤大学の優勝で学生駅伝三冠を達成しました。中央大学や青山学院大学が迫る中、復路は1回も先頭を譲らず完勝となりました。三冠を達成したチームは今迄の歴史で4校しかなく、5校目となる快挙でした。これだけの強さは実績のある高校生が入学していることでもあります、一番の功績は大八木監督の指導方法だと思いました。

大八木監督は現在64歳で駒澤大学を29年間指揮しています。昭和世代の鬼コーチで厳しい指導方法が常勝軍団を平成の中頃まで続けました。しかしそれ以後は実績のある高校生が入っても結果が思うようにでなく、優勝から遠のく結果でした。大八木監督は結果がでないことを分析し、指導方法を変え、一方的な指導方法から対話重視のスタイルに変更しました。監督自身が変わり、自分が話を聞くことを心掛け、対話の機会を増やし『しかるのは4割で褒めるのを6割』を実行しました。令和スタイルに変え、選手の自主性ややる気に繋がり結果が始め、今回の大学駅伝三冠に繋がりました。

会社経営においても同じで、平成生まれの新たな若い職員も入ってきます。同じ目線で対話をすることで本人の自主性ややる気を伸ばす事の大切さを感じています。



有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

～ウォーキング～

今月末に駅伝大会に出ようと思っています。急に走り出すと怪我のもとと思い、ウォーキングから始める事にしました。

久々にウォーキングをすると、一人の時間を作ることができ考え事の整理などもできて、いい時間だと思いながら歩いていました。今の時期ですので、外は寒いですが防寒対策をしっかりすれば少し歩くと暖かくなります。家の中は暖房がついているので外に出たくない気持ちもありますが、ぐっところえて歩き出します。

夜間ですが、他にもウォーキングやランニングをされている方もいらっしゃる、継続しているのは凄いと思いながら見えています。きっと僕のように、短期間だけの人もいるのかもしれませんが・・・

大会当日まで残りわずかですが僕もなるべく継続して練習し、大会当日を迎えられるようにしたいと思います。

五十峯 大貴